

お気をつけ下さい！！

こんなこと、ありませんでしたか？

帰ったら玄関が解錠されてた！

確実に施錠して外出したのに、帰宅すると玄関の鍵が解錠されていた。特に盗まれたものはなかったけれど、自分の勘違いではない。警察に相談しても「鍵を閉め忘れただけではないか」と言われておしまい。集団ストーカーは、「被害者の勘違い」と誤解される程度に嫌がらせを繰り返します。



プライバシーに関することが知られている

自分しか知らないはずのプライバシーに関する何を、不特定多数の他人に知られている。見知らぬ人たちが「偶然を装って」あなたに近づき、あなたのプライバシーに関することを聞かせてくる。もしそんな経験があるなら、あなたのプライバシーは、知らない間に集団ストーカーによって盗まれ、違法に悪意ある第三者にリークされている可能性があります。



毎日、尾行・待ち伏せされる

全く面識のない他人が、ニタニタしながら尾行してくる。問い質すと「偶然だ」と答える。その次の日は、別の人物がニタニタながら付き纏う。問い質しても「知らない」と答える。顔ぶれは毎回変わるけれども、確実に毎日、面識のない多数の人間から尾行されている。



近所の人々の態度がおかしくなった

恨まれる様なことをした覚えが全くないのに、ある日急に近所の人たちの態度がおかしくなる。挨拶をしても、返事をせず無視をする。数名で遠巻きにイヤミを言ったり嫌がらせをしてくる。不審者を見る様に遠巻きに嫌な顔をする。陰湿な嫌がらせをしてきて、苦情を言うとトボける。



それ、「集スト」かも！！

「集団ストーカー」という犯罪を知っていますか？

集団ストーカーとは、その名の通り、一個人に対し「集団で偶然を装って行われるストーカー行為」です。特定人物による恋愛感情に基づくストーカー行為は、法で規制されているため取り締まりが可能です。組織的なストーカー行為は、多人数により偶然を装って計画的に実行されるため、「指示があった事実」を突き止めない限り、我が国の現行法では取り締まることが出来ません。ビジネスで嫌がらせを請け負う団体とその団体に（私怨やリスト目的等の動機で）嫌がらせを依頼する者、そして嫌がらせを長期間、毎日受け続け、警察や行政機関等に被害を訴えても解決せずに泣き寝入りしている多数の被害者が居ます！

被害者が全国に多数続出！街宣やデモを開き、被害を訴えています！



近年「集団ストーカー」による被害を訴える人が、全国に多数続出しています。被害を訴える方々は、何ら落ちのない、ごく普通の方々ばかりです。被害者が集まって街宣やデモ活動を繰り返したり、警察に何度も足を運び被害陳情と犯罪取締を要請し続け甲斐あって、警察でもようやく「集団ストーカー」について認知し、被害者相談を受け入れる様になりました。しかしながら、現状、偶然を装って

計画的・組織的に実行される「集団ストーカー」を取り締まることは「指示を出している者に関する証拠が得られない限り」、警察でも「お手上げ」です。取り締まるには、「ストーカー規制法」が改正されなければなりません。「集団ストーカー」は、被害者が精神病を発症したり、自殺することを目的にしているケースが殆どです。そのため、被害者の中には長年被害を受けている人が多く、被害歴の長い人は、多くの有力な証拠を持っています。集団ストーカー指示者さえ特定できれば、芋づる式に犯人を逮捕し、裁判にかけることが出来るのです。

集団ストーカーを撲滅するため、集団ストーカーについて知って下さい

集団ストーカーは、いつ、誰が被害者になってもおかしくありません。あなたやあなたの大切な人が被害に遭う危険性も、十分に有り得ます。この犯罪を撲滅する第一歩は、一人でも多くの方が、この犯罪の手口を正しく理解されることです。まずは、インターネットで「集団ストーカー」について検索してみてください。